

作文・ポスターをより良く仕上げるために

「紙リサイクル」コンテストは、紙リサイクルについて正しく理解した上で、下記のチェックポイントとコツをおさえていくと、より良い作品に繋がります。

チェック



「リデュース」や「リユース」、「森(木)の循環、保護」などと混同していませんか？

特定の個人名、団体名、企業名を入れていませんか？

他の作品などを流用したと思われる内容ではありませんか？

作文の書き方のコツ

- 書き始めの工夫を考えましょう。
説明から始めるのではなく「あれ？」という驚きを持たせたり、「おもしろそう！」と思わせる書き方をする。例えば、いきなり会話で書き始めてもいいでしょう。
- 話題を絞込みましょう。
作文にする話題は、分解させずに、絞れば絞ったほど読んでもらえます。
- 起承転結を作りましょう。
【起】これから書く作文の前提を説明し
【承】ポイントとなる出来事を登場させ
【転】それがどう展開していったかを書き
【結】最終的にどうなったかの結論で締める
できれば「転」は読み手を驚かせる展開にすると面白くなります。文章量の目安は、起承転結を1:4:4:1とするとバランスが良いとされています。
- ドラマチックになる部分を詳しく書きましょう。
説明は必要最小限にして、その話題のメインとなるドラマの部分をより詳しく書くと、文章に厚みが出ます。
- 自分の思いや考え、本音を書きましょう。
作者である子どもたちが、喜怒哀楽の本音を出すことで、読む人の心をつかみます。
- 書き終わりの文章を工夫しましょう。
作文は出だしと締めくくりが大切です。中でも締めくくり、つまり書き終わりは印象深く書くように指導しましょう。最も悩んで時間をかけている部分です。

ポスターの描き方のコツ

- 文字は大きく太くはっきり描きましょう。
キャッチフレーズは「紙リサイクル」というテーマがはっきりわかるように描かせましょう。
- 文字の位置を工夫しましょう。
絵やイラストとの調和を考え、文字とのバランスがとれるような位置に配置できるように指導しましょう。
- 絵やイラストは分かりやすくしましょう。
何を意味するのかが分かりやすいような絵やイラストを描きましょう。
- 作文以上に誤字脱字に気をつけましょう。
キャッチフレーズは短いフレーズです。その分、誤字脱字があると、その間違いがより目立ってしまいます。
- 息を吐きながら描くことが、きれいに描くコツ。
少しずつ息を吐きながら筆を進めていくと、筆先がぶれません。
- さまざまな良いポスターを見てみましょう。
良い作品を見ることで、新しいアイデアが浮かぶと同時に、制作の質も上がります。
- 裏面でも手を抜かず勝負させましょう。
裏面にポスターの意図を書くときは、絵やキャッチフレーズで何を伝えたかったのか、わかりやすく説明させるように指導しましょう。



当センターのホームページでは、この「応募の手引き」のより詳しいことや、過去の受賞作品などの参考資料、紙リサイクルについてのコンテンツを用意しています。ぜひアクセスして、家庭での指導でもご活用ください。

古紙再生促進センター 紙リサイクルコンテストページ

http://www.prpc.or.jp/activities/public_relations/?id=contest#contest

紙リサイクルコンテスト

検索

スマートフォンからご覧いただけます



応募に関する
問い合わせ先

〒105-0013 東京都港区浜松町 1-23-4 浜松町昭栄ビル 4F
『全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト』事務局 (CISC 内)
TEL.03-5777-1322 / FAX.03-3432-4044

企画・編集・発行

公益財団法人 古紙再生促進センター

TEL.03-3537-6822 FAX.03-3537-6823 <http://www.prpc.or.jp>

2021.5

全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 応募の手引き

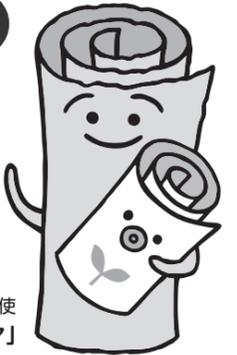
“紙リサイクル”コンテスト 応募のポイント①～⑤

リサイクルそのものを教えることは、なかなか難しいものですが、“紙リサイクル”なら、身近にある“紙”に絞ったリサイクルのため、子どもたちも理解しやすいと思います。

「使い終わったノートやメモ用紙等はどのようにリサイクルされているか調べてみよう」と言えば、楽しんで取り組むはずです。

この応募の手引きを通して、“紙リサイクル”の理解を深め、作品づくりへのポイントをおさえながら、環境学習の1つとして役立てて頂ければ幸いです。

紙リサイクル促進大使
「カミリィ」ちゃんと「カミリィママ」



リサイクルとは何ですか？

「リサイクル」とは、限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会(=循環型社会)をつくることとする活動の1つです。
加えて「リデュース」、「リユース」といった、ごみを削減する方法もあり、リサイクルを含めて「3R(スリーアール)」と呼ばれています。



Reduce
リデュース
ごみを少なく
する

なるべくごみを
出さないこと

Recycle
リサイクル
再資源化

Reuse
リユース
再使用

捨てずに繰り返し
使うこと

ポイント①

本コンテストのテーマは、
紙の「リサイクル」です。

これまでの応募作品の中で「リサイクル」と「リデュース、リユース」を混同している作品が、まだまだ見られます。

使い終わったものを
資源に戻して利用する。

ポイント②

リデュース、リユースは
審査の対象外になります。

では、紙リサイクルとは？

“紙リサイクル”とは、読み終わった新聞や雑誌、使い終わった段ボール、紙パックなどを回収し、資源に戻して新たな紙の原料に利用することです。

紙のリデュースを
きちんと理解して、
「紙リサイクルの輪」に
参加しましょう

しっかり分けて回収に出す
古紙は種類ごとに違う用途の紙に再生
されるため、分けて回収に出します

ポイント③

紙リサイクルを理解してテーマを考えてみよう

良い例

- ・私の家では、使い終わった紙を集める箱を置いて古紙回収に出している
- ・リサイクルに出した紙はどのようなか調べた

紙リサイクルについて取り上げているので OK

悪い例

- ・紙箱を筆箱にして使っている
- ・牛乳パックを洗ってまな板にしている
- ・新聞紙を雑巾代わりに使う

これらはリユースになってしまいます

